

# 若 鮎

桧木内中学校報 No.22

令和7年10月22日(水)

学校教育目標

「元気・温もり・感動」を伝える桧木内中学校

## 後期のスタート

後期の始まりとともに気温が下がり、秋の深まりを感じるようになりました。来週は1年生が秋田市で宿泊研修、3年生が盛岡市で上級学校訪問、そして2年生が修学旅行に出掛けます。子どもたちからは、どの行事も楽しみにしていることが伝わってきます。事故なく、一人一人の心に残る行事にしていきたいです。



「仙北市防犯協会桧木内支部」様から「クマよけ鈴」をいただきました。早速カバンに付けて使わせていただいています。生徒が登校する毎にカランカランと聞こえてきます。この音、好みはあると思いますが、涼やかで気に入っています。

## 大縄跳び大会&なべっこ

連日の熊による人身被害の報道が続いています。本校近くでも目撃情報があったためにマラソン大会を中止として大縄跳び大会を開催しました。内容的には、5分間で何回跳ぶことができたかをチーム対抗で行うものです。これを3セット行いましたが、5分間跳び続けることは難しく、如何に休憩を入れながら回数を跳ぶかが勝敗の鍵となりました。生徒からは「マラソンよりきつい」といった声が聞かれ、久しぶりにいい汗をかいたようです。

また、子どもたちが楽しみにしていた「なべっこ」も、天気が回復して「よし」というところでしたが、マラソン大会同様、安全に配慮して屋内の調理室を使うことになりました。こうなると「なべっこ」と呼んでいいのか、調理実習と変わらないのでは、という疑問がわいてきます。それでも和気藹々、楽しそうに「なべっこ」づくりをしていました。やはり秋田の秋に「なべっこ」は欠かせません。子どもたちにもこの文化はしっかりと受け継がれていくことでしょう。

